



特集

地域を守る感染症対策

〈2020.4月～2020.8月の活動報告〉

たくさんのご支援・ご声援ありがとうございます

〈地域連携だより〉

〈看護師レポート〉

「特集」

『地域を守る感染症対策』

新型コロナウイルス感染症が世界中で流行し、現在も多数の陽性者が連日ニュースで報道され、先の見えない状況が続いています。当院は第2種感染症指定医療機関としての役割を担っており、職員一丸となって対策に取り組んでいるところです。今回は湖北地域・感染症対策ネットワークの取り組みについて、感染管理室 副室長の中村忠之看護師長に話を聞きました。

湖北地域・感染症対策ネットワーク

平成22年度より湖北地域の病院（長浜赤十字病院、市立長浜病院、長浜市立湖北病院、セフィロト病院）の感染対策担当看護師と長浜保健所の感染症担当者を中心に、湖北地域における感染症対策の普及啓発を目的として、研修会や現地指導などの活動を行っています。しかし、今年度は例年実施している研修会は行わず、新型コロナウイルス感染症の研修会、現地相談を開催することとしました。

感染対策研修会

8月25日に高齢者・障害者サービス事業所の職員を対象として当院において研修会を開催しました。湖北地域に設置されている約400箇所の高齢・障害サービス事業所より150名の方に参加いただきました。参加者は、各事業所のリーダー的な立場のある方を対象とさせていただきます事業

所での感染対策を進める役割をお願いしました。

研修会は、新型コロナウイルス感染症の基礎知識と現在わかっている知見などを説明し、自分自身が濃厚接触者にならないことが大切であることを伝えました。研修会後半は、個人防護具が不足した場合の対応方法として、ビニール袋を利用したガウン、クリアホルダーなどを利用したフェイスシールドの作り方についての演習を行いました。事業所においてクラスターが発生すると、事業所はもとより湖北地域の医療に多大な影響がでるため、それぞれが感染しない、感染を拡大させないために万全の感染対策を行うことが重要であることを強調しました。

施設の現地相談・指導

現地相談・指導として入所施設に（ネットワークとして計9カ所）伺い、感染対策の基本的事項を伝えるとともに、施設において患者が発生した場合の

対応としてゾーニングの指導を行いました。施設によって構造やスタッフの人数も違い、教科書通りの対策はできないため施設の方と一緒に考えながら対策を決めていきました。課題としては、医療資源とマンパワーが不足していることが挙げられます。

感染症指定医療機関として

新型コロナウイルス感染症の流行は、医療現場のみならず社会活動を一変させました。流行が始まり半年以上が経過しましたが先が見えない状況です。感染症法の指定感染症に位置づけられていることから、検査で陽性と判明した場合は入院することになります。軽症や無症状の場合においても入院となるため、入院する病床が不足し医療が逼迫してしまいます。今のところ湖北地域では感染者数は少ないですが、滋賀

県南部においては複数のクラスターが発生し病床が確保できない状況を経験しています。湖北地域においてもいつクラスターが発生するかわからず、病床が確保できなくなることを想定し準備しておく必要があります。

当院は第2種感染症指定医療機関として、陽性患者の受け入れや感染症外来の設置など大きな役割を担っていますが、病院内の対応だけでなく地域を含めた感染対策を進めるリーダーとしての役割もあります。いつまで続くかわからない状況ですが、湖北地域を新型コロナウイルス感染症から守れるように取り組んで参りたいと考えています。



防護服について演習



現地相談の様子



施設内のゾーニング等の確認

感染管理室 副室長
看護師長 中村 忠之

感染管理認定看護師



湖北地域・感染症対策ネットワーク研修会
新型コロナウイルス感染症における
高齢者・障害者福祉施設の感染防止対策

令和2年8月25日

湖北地域・感染症対策ネットワーク



活 動 報 告



4月 コロナ患者を受け入れる医療機関の負担を軽減するために

■新型コロナウイルス感染症陽性者宿泊療養施設にスタッフを派遣 4月27日(月)～

滋賀県では、4月22日より医療機関の負担軽減および重症者の受入病床の確保を図ることを目的として、ホテルピアザびわ湖を無症状者または軽症者が療養を行う施設として利用しました。

療養者の健康観察や運営支援のために県内の災害拠点病院を中心にローテーションを組み、施設へスタッフを派遣し活動を行いました。当院からは延べ6日間計8名を派遣しました。



7月 豪雨災害で被害にあった熊本県で支援を行いました

■DMATロジスティックチーム要員を派遣 7月19日(日)～22日(水)

7月の記録的な豪雨により熊本県南部を中心に甚大な被害がありました。それに伴い、全国のDMAT(災害派遣医療チーム)等に派遣要請があり、当院からも看護師1名を派遣し、人吉市および球磨村の避難所アセスメントや本部運営支援を実施しました。



8月 湖北地域の感染症予防のために

■湖北地域・感染症対策ネットワーク研修会を開催 8月25日(火)

湖北地域・感染症対策ネットワーク(事務局:長浜保健所)が主体となり、高齢者・障害者サービス事業所の従事者を対象に感染症予防活動の一環とした研修が当院において開催されました。当日は密にならないよう1回50名までを定員とし、3回に分けて開催しました。新型コロナウイルス感染症の基礎知識や標準予防策、防護具について等講義の他に演習も交えながら実施されました。



8月 救護班要員を対象に研修会を実施しました

■こころのケア研修会・救護班研修を開催 8月1日(土)・29日(土)

毎年救護班要員を対象に「こころのケア研修」および「救護班要員研修」を実施しています。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響により規模は縮小したとなりましたが、熊本県での豪雨災害のように災害はいつやってくるかわかりませんので、一人ひとりが赤十字の一員である自覚を持って日頃の準備を怠らないように努めています。

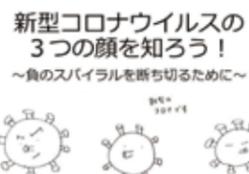


たくさんのご支援・ご声援
ありがとうございます



新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう! ～負のスパイラルを断ち切るために～

新型コロナウイルス感染症は、“3つの顔”を持っており、これらが“負のスパイラル”としてつながることで、更なる感染の拡大につながっています。この度、日本赤十字社ではこの“負のスパイラル”を知り、断ち切るためのガイドを作成いたしました。感染拡大を防ぐための一助として是非お役立てください。



続きは日本赤十字社
ホームページをご覧ください。



地域医療連携課だより

長浜赤十字病院・連携医療機関のご紹介

長浜赤十字病院の役割とかかりつけ医との地域連携

本院は、急性期医療を行うとともに地域医療支援病院として、地域全体で適切かつ高度な医療サービスを提供するために、かかりつけ医・近隣医療機関と連携しています。又、地域住民のみなさまに一貫した切れ目のない医療や間、病院と診療所・薬局、そして介護サービス事業所や訪問看護ステーションで診療情報の共有を行っています。

住民のみなさまへ

よりよい医療の提供をしていくため、かかりつけ医（開業医）からのご紹介状（診療情報提供書）を持参してのご来院をお願いします。また、病状が安定してきた患者さまには、ご紹介元診療所やご自宅近くの医院・クリニックでいただいています。

ただし、病状変化があった場合は今後も当院で対応します。急病の際は当院救命救急センターで対応します。

ビスを提供するために、かか介護を提供するために、病院うびわ湖あさがおネットを活用

を持参してのご来院をお願い（かかりつけ医）をご紹介させ



メディカルアート澤田医院

澤田院長からのメッセージ

内科、小児科の開業医として、2名の医師が交代で診療をしています。専門性と同時に何でも気軽に相談できる医院を心がけてまいりました。また、20年以上前、まだ訪問診療の制度ができていない頃より往診も積極的にしてまいりました。内科領域や小児科の病気のみならず、往診や訪問診療、予防接種等、かかりつけ医として何でも気楽にご相談ください。



- 《医師》 澤田 賢三
澤田 和子
- 《診療科》 内科、小児科
- 《住所》 長浜市大宮町5-24
- 《電話》 0749-62-0875
- 《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後	16:00~18:00	○	○	○	×	○	×

※日、祝祭日は休診

安達クリニック

安達院長からのメッセージ

患者さんに寄り添い、感じておられる不安から少しでも軽くなっただけのよう心掛けています。

何か気になることがあれば、お気軽にご相談ください。



- 《医師》 安達 貴子
- 《診療科》 内科、小児科
- 《住所》 長浜市湖北町速水241-1
- 《電話》 0749-78-0005
- 《往診診療》 無 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○
午後	16:30~18:30	○	○	×	○	○	×

※日、祝祭日は休診

華房クリニック

華房院長からのメッセージ

一般内科・小児科診療所として、家族みんなが気軽に、安心して受診していただけるよう丁寧な説明、診療をこころがけています。また、糖尿病、内分泌疾患の専門医として病院との連携を大切に、かかりつけ医としてお役にたきたいと思っています。



- 《医師》 華房 順子
- 《診療科》 内科、小児科
- 《住所》 長浜市南呉服町11-21
- 《電話》 0749-62-1547
- 《往診診療》 無 《訪問診療》 無

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後	15:00~18:00	○	×	○	×	○	×

※日、祝祭日は休診

笹口歯科医院

笹口院長からのメッセージ

平成9年に開業して以来、地域の皆様のお口の健康に貢献できるよう努力してきました。お口の中を清潔にすることが、新型コロナウイルス感染症の予防に役立ちます。何か気になる事があれば、お気軽にご連絡ください。



- 《医師》 笹口 博彰
- 《診療科》 歯科、小児歯科
- 《住所》 長浜市弥高町100
- 《電話》 0749-68-2711
- 《往診診療》 無 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:30	○	○	○	×	○	○
午後	14:00~18:00	○	○	○	×	○	○

※日、祝祭日は休診

看護師レポート

安心してがん薬物療法を受けていただくためにサポートしています

～がん薬物療法の場合は“入院”から“外来”へ～

がん化学療法看護
認定看護師 高山 さなえ

近年がん薬物療法の進化は目覚ましく、新しい治療薬が登場しています。治療薬だけでなく、副作用を緩和するための支持療法も進化しており、自宅での生活や仕事を続けながら外来通院でがん治療を行うことが可能となりました。



当院では2005年に外来治療室が開設され、がん薬物療法における抗がん剤・分子標的治療薬・免疫チェックポイント阻害剤などの点滴や、関節リウマチや炎症性腸疾患などに対する生物学的製剤による治療を行っています。室内にはリクライニングチェアとベッドを設置し、それぞれはカーテンで仕切れるようになっています。各席にはテレビが設置されており、治療中少しでも快適に過ごしていただけるよう配慮しております。また副作用対策や患者さんが自宅で困っておられることなどを、医師・看護師・薬剤師・栄養士・医療ソーシャルワーカーなどと共有し、安心して治療が継続できるようチームでサポートしています。

～新型コロナウイルス感染症流行下におけるがん治療の継続～



がん薬物療法中の患者さんは免疫状態の低下が関与して、新型コロナウイルスに感染した場合、重症化する可能性があると考えられています。そのため三密を避けるとともに、これまで以上にマスク着用・うがい・手洗いによる感染予防や、ご自身による体調のチェックを行っていただくようお願いしています。また新型コロナウイルス感染症による症状といわれる、発熱・倦怠感や味覚障害などはがん薬物療法の副作用としても起こる可能性があり、判別に迷うことが予想されます。そのような場合は、まず外来治療室で看護師による電話相談を行い、必要な対処がとれるようサポートしています。これから冬にかけて新型コロナウイルス感染症の流行が懸念されます。今後も当院では万全の感染対策を行い、安心してがん治療を継続していただけるよう取り組んでいきます。

今回の表紙

～原子力災害対策施設を新築します～

当院は滋賀県基幹原子力災害拠点病院として指定を受けており、原子力災害発生時には原子力災害医療の中心となって傷病者の受入・診療等を行うことになっています。表紙の写真は原子力災害対策施設の新築工事を開始するにあたって執り行われた安全祈願祭の様子です。

理念

「人道・博愛」の赤十字精神にのっとり、やさしさのある全人的医療を提供します

基本方針

1. 常に研修・研鑽に努め安全で高度な医療を提供します
2. 個別のニーズ、人権、プライバシーに配慮し、患者さん中心の医療を展開します
3. 地域の保健・医療機関との連携を強化します
4. 救急医療を充実し、災害救護や国際救援にも積極的に参加します
5. 広報活動、住民教育、各種行事への参画などを通し街づくりに貢献します

患者さんの権利宣言

1. 人権が尊重され、良質で適切な医療を受ける権利
2. 医療上の情報提供・説明を受け、同意したのち医療を受ける権利
3. 治療方法などを自らの意志で選択する権利
4. プライバシーが保障される権利
5. 他の医師などの意見(セカンドオピニオン)を求める権利
6. カルテ開示を求める権利



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

長浜赤十字病院

滋賀県長浜市宮前町14番7号

TEL:0749-63-2111 (代表) URL:<https://www.nagahama.jrc.or.jp/>